

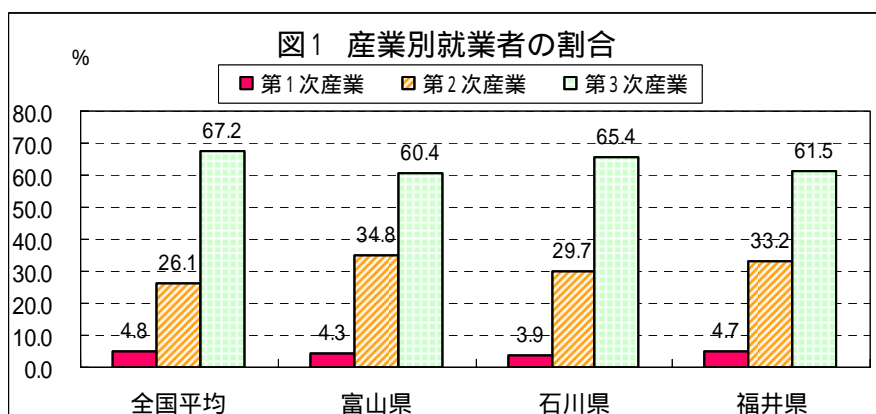
国勢調査ギャラリー

平成22年7月1日

国勢調査でわかることーその4ー

国勢調査はさまざまなデータが得られる調査です。そのデータは、国や地域社会の姿を知るために、手軽にみることができます。今年10月に実施する平成22年国勢調査では、どのようなことがわかるのでしょうか？これまでの国勢調査でわかることをご紹介します。

1 産業別就業者の割合



- 【第1次産業】
農業、林業、漁業
- 【第2次産業】
鉱業、建設業、製造業
- 【第3次産業】
電気・ガス・熱供給・水道業、
情報通信業、運輸業、卸売・
小売業、金融・保険業、不動
産業、飲食店、宿泊業、医療、
福祉、教育、学習支援業、複
合サービス事業、サービス業(他
に分類されないもの)等

図1をみると、富山県は、就業者の第2次産業に占める割合が34.8%と全国で1番高くなっており、ものづくりが盛んな県であることがわかります。

一方、第3次産業の割合は、全国に比べ低くなっています。分類不能の産業があるため、各産業の合計は100%にならない。

産業別就業者の割合
北陸3県の順位表

| | 第1次 | 第2次 | 第3次 |
|-----|-----|-----|-----|
| 富山県 | 34位 | 1位 | 39位 |
| 石川県 | 35位 | 16位 | 19位 |
| 福井県 | 32位 | 7位 | 32位 |

2 データから見る！～もし富山県で働く人が100人だったら・・・～

もし、富山県で働く人が100人だったら、どのような仕事に就いているのでしょうか？

【第1次産業の就業者】4.3人

農業 4.0人
漁業 0.2人



100人のうち、農業に就いている人は4.0人です。

【第2次産業の就業者】34.8人

鉱業 0.1人
建設業 10.2人
製造業 24.5人



100人のうち、製造業に就いている人が24.5人で、第2次産業の就業者の7割を占めます。

【第3次産業の就業者】60.4人

運輸業 4.3人
卸売・小売業 17.1人
飲食店、宿泊業 4.2人
医療、福祉 9.1人
サービス業 12.8人
(分類されないもの)

100人のうち、第3次産業に就いている人は60.4人です。その中では、卸売・小売業に就いている人が17.1人と一番多いです。



この資料は全て、平成17年国勢調査のデータを基に作成しました。国勢調査は全数調査のため、このような数値を出すことも可能です。そのためには、漏れなく、重複なく調査を実施することが大切です。